

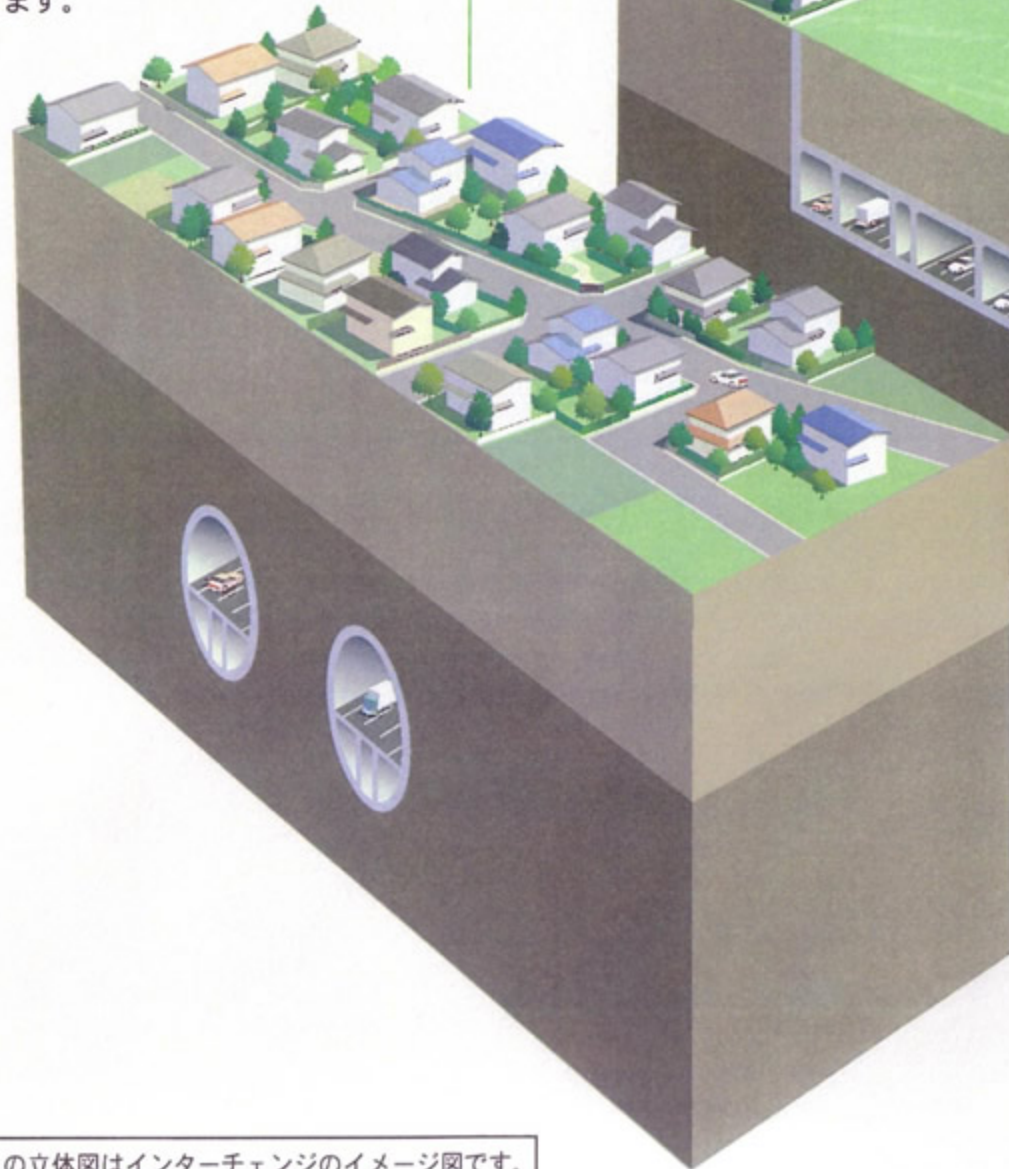
ジャンクションやインターチェンジ付近における生活への影響

地域のみなさんの生活への影響を極力抑えることができるようシールド工法の地下方式で検討していますが、

ジャンクションやインターチェンジ付近では地域分断、建物の移転、交通の集中による影響などが生じる可能性があります。

シールド工法は

シールド工法区間では、地上の生活への影響はほとんどないと考えております。



※この立体図はインターチェンジのイメージ図です。

交通集中

インターチェンジ周辺では交通が集中

インターチェンジ周辺の道路では、交通が集中するために、周辺の皆さんの生活に影響が生じる可能性があります。

開削工法は

開削工事は、地表から掘り下げるので、移転や地域分断が生じる可能性があります。



開削工事の断面イメージ

開削工事（首都圏/埼玉新緑環状線中央出入口）

移転と地域分断

地域分断が発生

連絡路が半地下、地表となる区間では、地域分断が懸念されます。

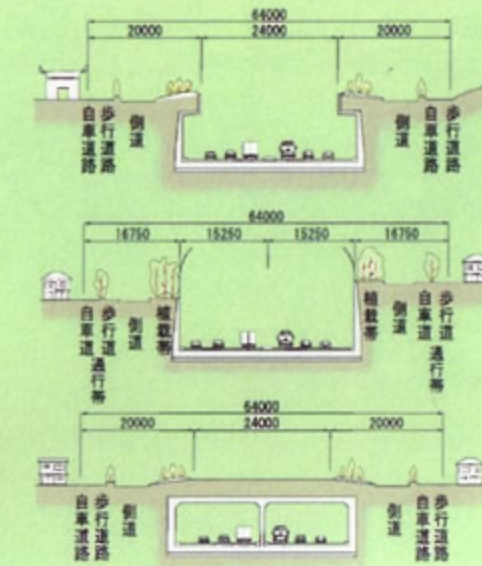
移転が必要

開削区間は、地表から掘り下げるため、移転が必要となります。

地域分断への影響

東京外かく環状道路（埼玉区間における対策事例）

東京外かく環状道路の埼玉区間では、開削部の上空に横断橋を設置したり、埋め戻したりすることで、地域分断による影響を極力小さくする工夫をしています。



写真①：横断橋の事例（埼玉環状線南1丁目）



写真②：埋め戻し部の事例（埼玉環状線南1丁目）